

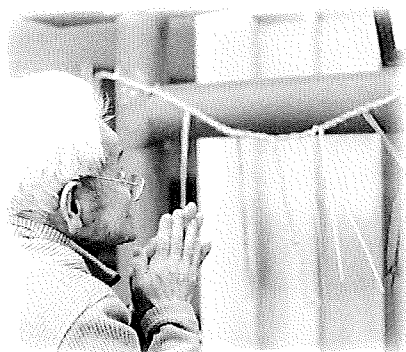
特別養護老人ホーム 第二天神の杜



- 絆 -

第 38 号

2021年3月31日発行



～初詣～



第二天神の杜 家族の会
特別養護老人ホーム 第二天神の杜



家族の会ご挨拶



副会長 近藤 千裕



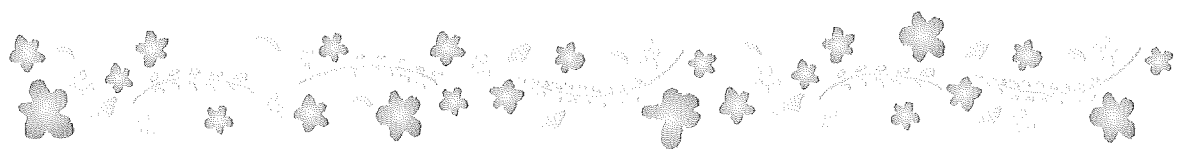
朝晩は、まだ冷え込むときがあるものの、時折吹く風に春を感じる時季になりました。家族の会、会員の皆様におかれましては、日頃から当会運営にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

京都府では昨年の一月に一人目の新型コロナウイルス感染者が確認されて以来、この一年間はコロナウイルスの影響により、私達の生活も一変する事となりました。

第二天神の杜においても、毎年楽しみにしている夏祭りをはじめ、ユニット懇談会や紅葉ドライブ等の各種行事の開催において感染拡大防止対策として、中止もしくは制限せざるを得ない状況になりました。以前は当たり前のようにユニットにお邪魔して、母に面会し身体に触れていたことも、感染予防のため、この一年間は叶わぬこととなりました。家族の会、会員の皆様も少なからず寂しさを感じておられる事だと思います。しかし、この状況は当分続く事だと思います。この環境下で、私達家族に出来ることは、家族一人ひとりが感染対策を行うこと。第二天神の杜にコロナウイルスを持ち込まない事に尽きると思います。特別なことではなく、マスクや日常の手洗いなどの予防策をしっかりと行う事に尽きると思います。

一方、施設の中では、職員の皆様が「介護のプロ」として、「コロナに感染しない、感染させない」という思いで、様々なストレスを感じながら頑張っていただいています。改めて職員の皆様には感謝を申し上げたいと思います。

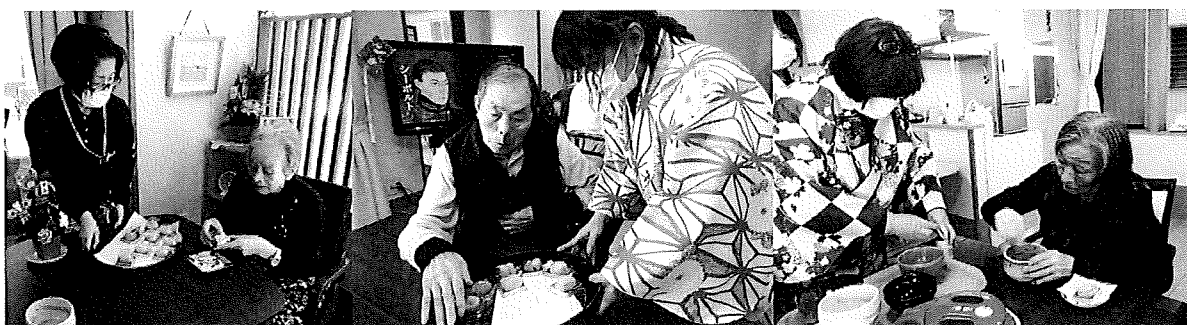
新年度を迎えるにあたり、家族の会役員と致しまして、今後も第二天神の杜に集う皆様と共に、入居者の皆様に日々、楽しく穏やかに過ごしていただけるよう、この環境下で何が出来るかを考え、微力ではありますが努力していきたいと考えています。今後とも家族の会の運営にご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。



家族の会活動報告

★お茶会

4月に予定していたお茶会を延期して1月10日(日)に開催しました。喜久春さんの松竹梅やめでたい鯛を模った和菓子や水仙や椿の花などを模った季節の花を感じさせる和菓子8種類を用意していただきました。ユニットごとに職員の方のお点前を見せていただき、お抹茶とともに入居者の皆様に季節の和菓子をご賞味いただきました。



★ひまなつりのお祝いにイチゴの贈呈

3月2日(火)、ひまなつりのお祝いに入居者の皆様へ家族の会よりイチゴを贈呈しました。そのイチゴを見た目が可愛くて入居者の皆様が美味しく召しあがられるように、職員の方がイチゴムースのケーキを作ってくださいました。



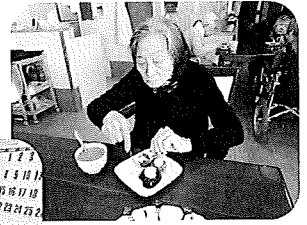
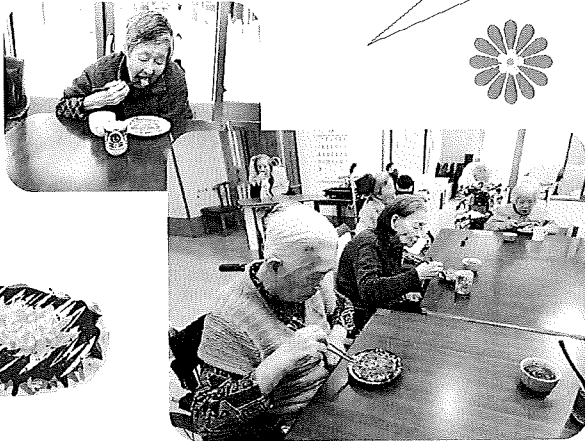
★入居者の皆様の風邪予防にデコボンの贈呈

入居者の皆様の風邪予防にデコボンを贈呈しました。また感染対応に取り組んでいる職員の方皆さんへ感謝と労いの気持ちをこめて、みかん3ケースを贈呈しました。

ユ ニ ッ

わかくさ

2月7日 お好み焼きを食べよう
大好きなお好み焼きをいただきました。



2月14日 チョコレートを食べよう
「美味しい」とチョコレートがたくさん食べて、
皆様と楽しいひと時を過ごしました。

さわらび

1月31日
収穫した芽キャベツをアヒージョにして舌鼓を打ちました。



2月14日 バレンタインのチョコレートパフェ
甘くて美味しいと喜んでおられました。

なでしこ

3月1日 お茶会
ひな壇がある喫茶で、美味しい和菓子と
お抹茶をいただきました。



1月15日 食彩企画 すき焼きを食べよう
「美味しかった」ととても好評でした。



ト 報 告

ききょう

1月5日 絵馬
今年の抱負を書いていただきました。



はぎ

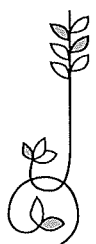
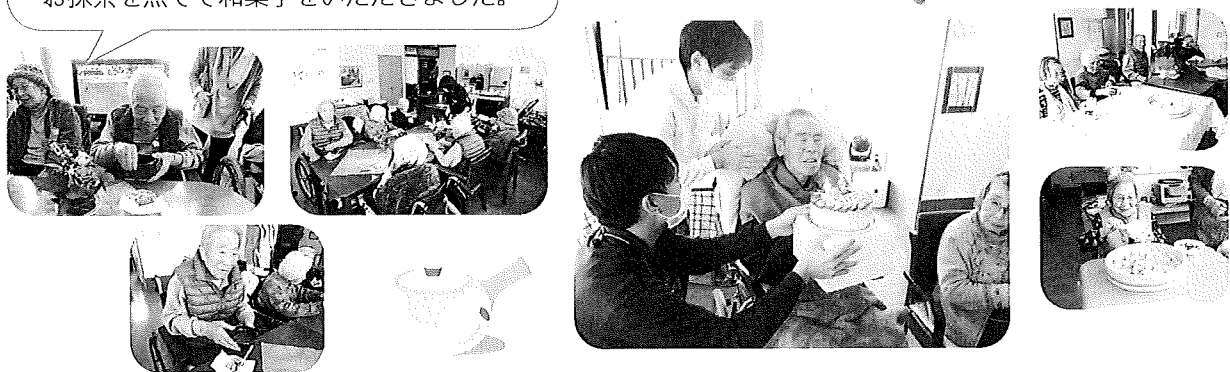
2月24日 お好み焼きパーティー
目の前で焼いたお好み焼きを皆様とたくさんいただきました。

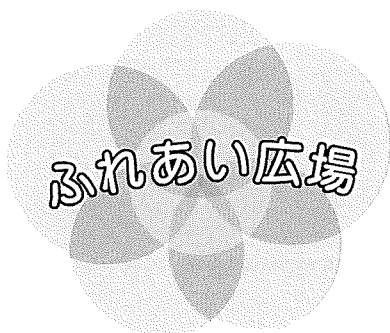


こぐり

2月27日 誕生日会
お誕生日のお祝いに炊き込みご飯を作り、皆で美味しくいただきました。

1月10日 お茶会
お抹茶を点てて和菓子を行いました。





このコーナーでは、家族様や入居者様のお話を中心に取り上げています。家族様から寄せていただいたお話をご紹介します。

私の母

長谷川 葉月



母、小川 妙子は昭和7年2月24日大阪市内で生まれたと聞いています。兄2人、弟1人の男兄弟の中で育ちました。小さい頃から本を読むことが好きで兄達の学校の教科書も借りて読んでいたらしいです。お父さんは腕の良い大工さんだったらしく「妙子一緒に行こうか」と誘われよく金槌を持ってお手伝いが遊びだったみたいです。又母の一番上のお兄さんが戦死されたようでそのお兄さんの夢を見るらしく、「お兄ちゃん」と泣きながら夢から覚める母を何度か見たことがあります。優しいお兄さんで一度も怒られたことが無かったと言っていました。

母が30歳のときに7つ上の父とお見合いをして島本町山崎の山崎ウイスキーの近くの長屋に住み翌年私、次に妹、5年後に弟が生まれました。私が高校生の頃から私達を学校に出すために掛け持ちでパートに行ってくれていた母です。人付き合いが大の苦手な母ですが、私が中学の頃には早い動きは無理だからと市の太極拳やお習字教室に通ったりしていたこともあるんですよ。

2019年8月13日、有難いことに第二天神の杜さんにお世話になることができ、私も母も幸せ者だと思っています。昨年の米寿の式典でも職員さんに奇麗にお化粧をしてもらい着飾って頂き、母娘ともに素晴らしい思い出になりました。母が残したおかずを食べさせてもらったことがあるのですが、本当に良い味付けで美味しかったです。厨房のスタッフの方にも感謝です。いつも施設に寄せて頂いても温かいお気遣いの声掛けをして頂いてありがとうございます。これからも母、小川 妙子、そして私達3妹弟ともによろしく願います。

私の母のこと

小寺 美恵子



母、田井中 福枝は京都市上京区で大正10年に3人きょうだいの長女として生を受けました。が、二人の弟は共に20歳前後で病死、戦死され今は弟達の命もいただいて現在99歳、今年で100歳の誕生日を迎えようとしています。20歳代～30代の頃は病弱で入退院を繰り返し替えていた母とは思えず、皆一同びっくりしている次第です。実家は京人形の手足師として、今も代々受け継がれ、主にひな人形の手足の製作です。祖父母の製作した約50年位のひな人形に出会いました。まるで祖父母に出合った気持ち。

長岡京市に移り住んで約50年近くになります。子供3人をもうけ、孫7人、ひ孫6人、玄孫の昨年3人目が誕生、大世帯になり、まぎれもない、お、お、おばあちゃんの大事な存在になりました。趣味は旅行、日本各地を友人と旅し、70代頃からは、海外旅行に目を向け、アメリカ、オーストラリア、中国と大都市はほとんど行きつくしました。最後は北欧ノルウェーで楽しい日を過ごしてきました。海外旅行の話には、今も目を見開きます。手先が器用で法衣の縫製も10年近く仕事とし、仏像も何体も彫りました。

この上ない穏やかであり有難いわが晩年である。母の好きな寂聴さんの言葉、娘から母へ送ります。スタッフの皆様方、ありがとうございます。今後とも、母を宜しく願います。

.....

2月15日（月）喫茶ボランティアさんからウエスの贈呈

喫茶ボランティアさんからたくさんのウエスをいただきました。また皆さんも久しぶりの再会に喜んでおられました。「新型コロナウイルス感染症流行が収束して喫茶が再開し、入居者・職員の方とお会いできるのを楽しみにしています」と話されていました。



2月19日（金）花ボランティアの輪

長岡第四中学校では赤い羽根共同募金プロジェクトとして「花ボランティアの輪」を実施されています。共同募金を財源として、ボランティア活動を主体的に体験し共同募金のしくみを学ぶ取り組みです。長岡第四中学校の2年生が施設に来設されてお花と一緒にリーフレットをいただきました。





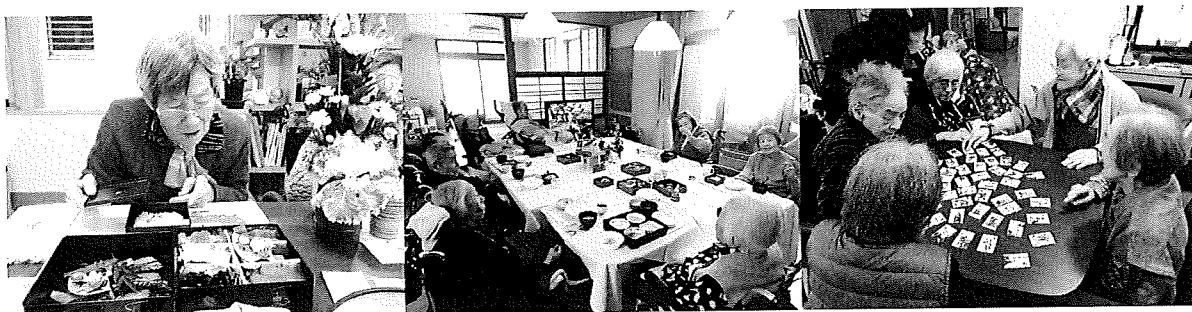
施設活動報告



1月1日（金）元旦

おせち料理を囲んで、新年を入居者の皆様と迎えることができました。

おせち料理の美しさとお味しさで、笑顔が絶えない時間を過ごされていました。



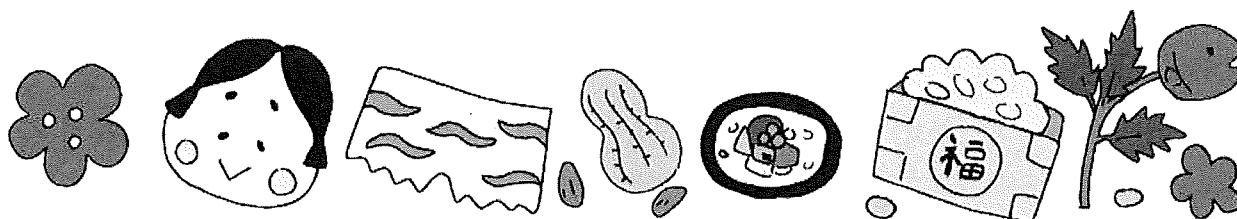
2月3日（日）節分 豆まき

職員が鬼に扮して各ユニットへ。真剣な表情で鬼にめがけて「鬼は外」と大きな声をかけ、また福を呼び込もうと「福は内」と元気な声がリビングに響き渡っていました。



3月22日（月）消防訓練

3月22日に、今年度2回目の消防訓練を実施しました。夜間に1階で火災発生した想定での避難訓練では、職員の大きな声と連携した避難誘導で避難することができました。



社会福祉法人 長岡京せいしん会 住所 〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺竹ノ下19番地
特別養護老人ホーム第二天神の杜 Tel (075) 959-1220 (代表) Fax (075) 957-2112

ホームページアドレス <http://www.tenjin-no-mori.or.jp>

[掲載する内容、写真に関しては、あらかじめ家族様より許諾を得て掲載させていただいております。]